

JAMトピックス

JAM第44回中央委員会

所属政党

郡山りょう氏 立憲民主党に

第3号議案「2025年政策実現活動に関する件」で決定



現場の声ではたらくをかえる「郡山りょう」必勝に向けて、団結してガンバロー

JAMは5月24日第44回中央委員会を東京・連合会館で開催した。中央委員、役員・地方書記長・傍聴など計229人が参加し、一般活動報告、会計中間決算報告・監査報告と5本の議案それぞれを満場一致・賛成多数で確認した。

第3号議案：2025年政策実現活動に関する件では、「JAM組織内議員の議席奪還。私たち働く者・生活者のための政策実現に向け、『郡山りょう』氏の所属政党を『立憲民主党』とする。闘いまで残すところあと一年となり、所属政党を決定することでより力強く、わかりやすい活動推進の展開つなげていく」と提起し承認決定した。

第4号議案：2024年春季生活闘争中間総括に関する件は、「今春闘中間総括は、結果として賃金改善額、平均賃上げ額ともに過去最高となり、2023年を起点とした高い水準の賃上げを実現した。今後も、賃上げ水準の歴史的な転換に向けて、高い水準の賃上げを確実に継続していかなければならない」と確認された。

安河内会長は「昨年に引き続きJAM結成

以来最高のベースアップを獲得することができた。今年、始めて価格転嫁が実現したという喜びの声と同時に、まったく認められなかったという悲痛な声も数多く寄せられている。未だ道半ばと言わざるを得ない。中小企業労働者だから、労務費の価格転嫁ができず低い賃金で我慢しなければならない。そんな理不尽なことはない。これは不当な格差だ。日本の経済は中小企業が支え、労働者の70%が中小企業で働いている。中小企業労働者の賃金を上げなければ日本経済の復活はない」などとあいさつした。

来賓として、基幹労連から津村正男中央執行委員長、森本真治参議院議員、村田享子参議院議員から激励のあいさつを受けた。郡山りょうは2025年7月参議院選挙に向け意気込みを表明した。



必勝を期して握手する郡山りょう氏(右)
JAM安河内会長(左)